

「HP掲載文」

癌組織のデジタル画像解析による臨床病理学的検討

1. 研究の対象

2009年6月1日から2015年8月31日までに当院にて乳癌・前立腺・膀胱に対する手術を受けられた方。

また、取り出された組織（病理検体）を研究に使用することに書面で同意していただいている方。

2. 研究目的・方法

各種の癌組織での腫瘍細胞の分布等を画像解析し、浸潤様式や細胞について詳細なデータを所得し、画像解析ソフトウェアで処理する。各種の臨床病理学的因子および予後情報との比較検討を行う。標本はHE染色を基本とするが、ER、PR、HER2、MIB1の免疫染色の画像解析も行い、AMACR、AE1/3、CAM5.2、PSA、CK5/6、CK14、CK19、GATA3、thrombomodulin、LCA、CD3、CD4、CD8、CD20、CD68、CD79a、CD138、CD163、vimentin、 α SMAを補助的に使用することもある。限定的ではあるが、LC-MS/MSによる蛋白解析も加える。

研究期間 2015年10月19日～2017年10月18日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：乳癌・前立腺癌・膀胱癌手術で取り出された乳腺の組織標本（病理診断に用いた標本）

情報：手術時年齢、病理組織番号等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

病院名：川崎医科大学附属病院

病院所在地：〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577

病院電話番号：086-462-1111（内線 44339）

電子メール：kanomata_7@med.kawasaki-m.ac.jp

研究責任者：川崎医科大学 病理学2 准教授 鹿股（かのまた） 直樹

5. 利益相反

この研究課題を実施する関係者には、アストラゼネカ（株）、中外製薬（株）、協和発酵キリン（株）、エーザイ（株）、大鵬薬品工業（株）、日本化薬（株）から奨学寄附金の受け入れ、および武田薬品工業（株）より報酬・謝礼・原稿料などの受け入れ、日本医療研究開発機構委託研究開発費から研究班研究費の受託を受けている者がいるが、利益相反委員会にその内容を申告し、適正に管理されている。なお、これらの企業および研究費は、本研究とは直接関係がない。